

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

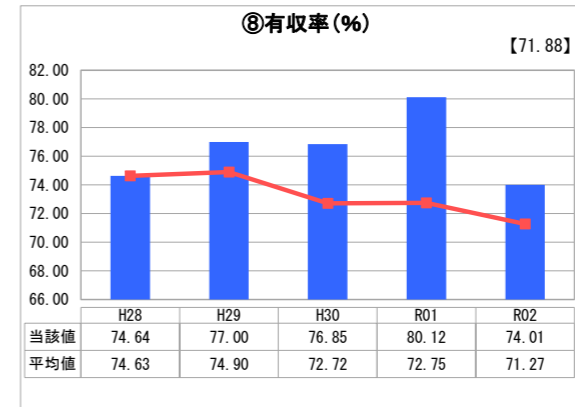
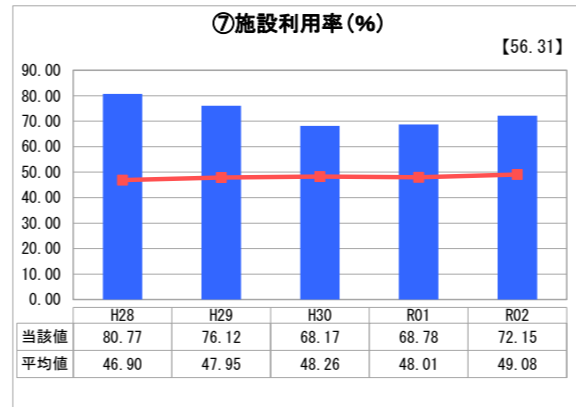
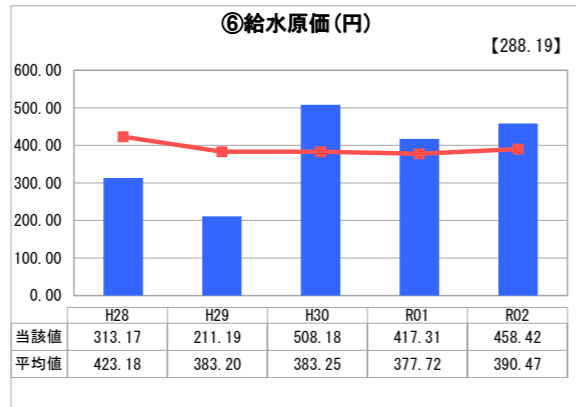
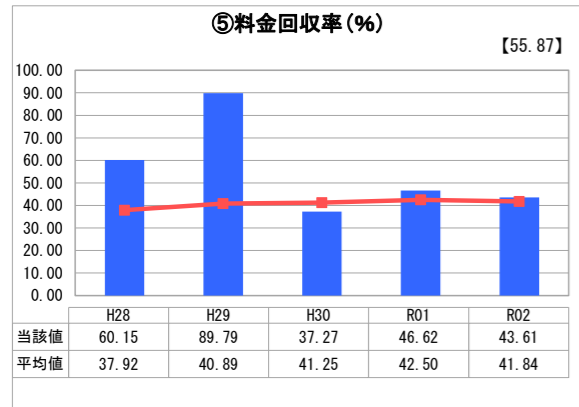
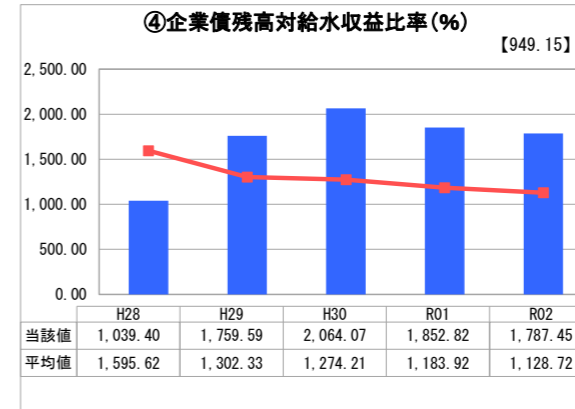
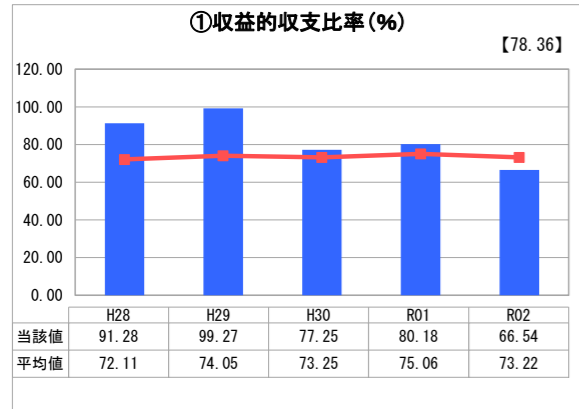
和歌山県 古座川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	35.45	3,210	

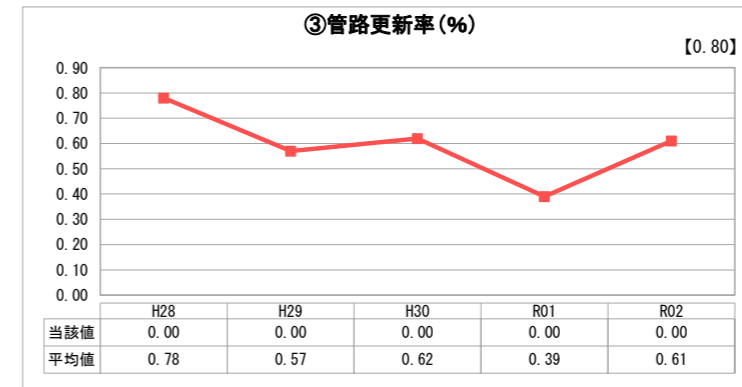
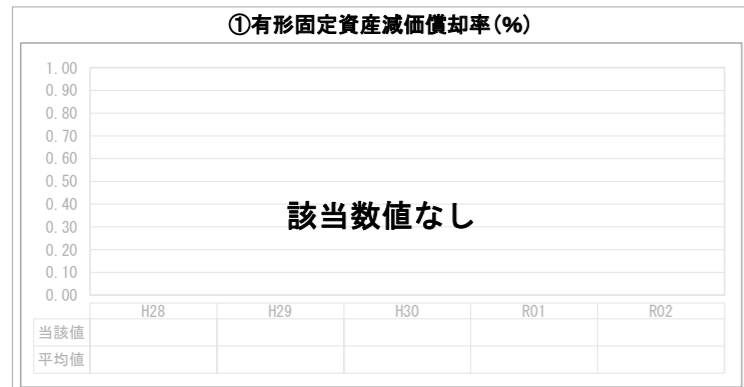
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,581	294.23	8.77
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
911	2.67	341.20

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率  
川口簡易水道事業に係る地方債の償還開始により、地方債償還金が増加したため、前年度よりも低い水準となっている。

④企業債残高対給水収益比率  
地方債の償還に努め、地方債現在高合計が減少したことにより、前年度よりも低い水準となっている。近年の設備投資により類似団体よりも高い水準となっているため、投資規模が適切であるかを検討しながら施設更新を行っていく必要がある。

⑤料金回収率  
給水原価の増加により、前年度より低い水準となっている。

⑥給水原価  
地方債償還金の増加及び、年間総有収水量の減少により、増加している。

⑦施設利用率  
類似団体よりも高い水準となっており、施設が効率的に利用されている状態である。

⑧有収率  
漏水量の増加により、前年度よりも約6%低い水準となった。類似団体平均値を上回っている状況ではあるが、管路の老朽化に伴って近年は減少傾向にあるため、計画的に更新を行っていく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

古座川町簡易水道事業は、昭和40、50年代に建設した施設が多く、老朽化している。本年度は三尾川簡易水道施設の場内配管の更新を行った。

### 全体総括

各施設が老朽化しており、平成26年度以降漏水が原因で有収率も減少傾向にあるため、今後は更新していかねばならないが、その更新に伴う予算確保が必要である。